



富山県：菅沼合掌造り集落



北海道：札幌時計台



HOKUHOKU REPORT

2016 Mini Disclosure

ミニディスクロージャー誌 平成28年3月期・営業のご報告



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.



石川県：金沢城(写真提供：金沢市)



福井県：養浩館庭園

地域とあなたのために、もっと。



取締役社長 **庵 栄伸**
(北陸銀行 頭取)



取締役副社長 **笹原 晶博**
(北海道銀行 頭取)

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

目次

ごあいさつ/中期経営計画	02
業績ハイライト	05
グループの概要	09
ネットワーク	10
地域とともに	11
財務諸表	17
ご案内	21

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ会社に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループのプライムエリアである北陸3県と北海道では、昨年3月には北陸新幹線が、今年3月には北海道新幹線が開業しております。もともと両エリアは観光資源に恵まれ、国内外の観光客数も増加傾向にありましたが、新幹線開業によりこの勢いはますます加速し、観光とビジネスにおける好循環が期待できる状況が整ったと感じています。一方で、他の地方都市と同様に、少子高齢化や都市部への流出による人口減少、地元企業の海外志向の高まりを受け、特に地方での経済の縮小が現実味を帯びつつあります。

このような経営環境の下、当社グループでは、グループが持つ強みを活かしながら、地域No.1の金融サービスの提供を通じてお客さまと地域社会に貢献することで、「地方創生」の一翼を担い、地域と共に成長・発展する金融グループとなることを目指し、本年4月より新中期経営計画『BEST for the Region』をスタートいたしました。

新中期経営計画の概要

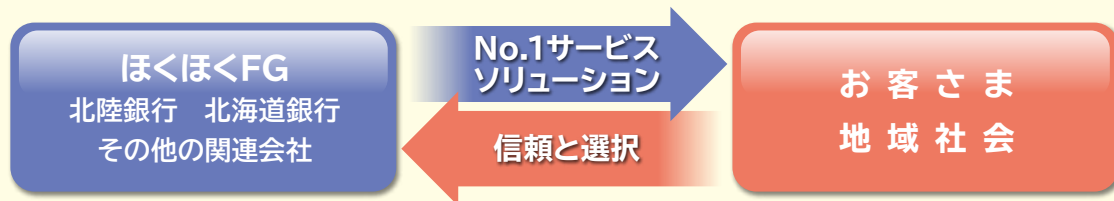
『BEST for the Region』

平成28年4月～平成31年3月

～予想される環境変化のなかで地域経済をバックアップしていくために、
ビジネスモデルの変革とグループシナジー効果のさらなる追求に取り組む期間～

目指すグループ像

地域No.1の金融サービスの提供を通じてお客さまと地域社会に貢献することで
「地方創生」の一翼を担い、地域と共に成長・発展する金融グループ



お取引先の役に立つ商品・サービスやコンサルティング機能の提供 (Beneficial)、グループの業務集約やエリア営業体制の拡充等による効率的な経営体制・営業体制の整備 (Efficient)、着実な収益の積み上げによる健全で信頼される経営基盤の確保 (Sound & Trustworthy) により地域No.1の金融グループを目指してまいります。

基本方針	①営業力の強化	お客さまの期待を上回る提案力・サービス力の実現
	②経営の効率化	競争を勝ち抜く機能的な組織の追求
	③経営基盤の強靱化	地域から信頼される安定した財務基盤の構築

前中期経営計画の達成状況

前中期経営計画の最終年度であった平成28年3月期の連結当期純利益は、目標の185億円を大きく上回る288億円となりました。

この3年間の当社グループを取り巻く経営環境を振り返りますと、日銀の金融緩和政策により市場金利の低下が進み、貸出金利の低下や国債の利回り低下など運用収益面で厳しさが増してまいりました。お客さまのニーズを捉えた商品・サービスを提供することに努め、企業向け貸出と個人ローンの資金需要をしっかりと取り込むことで貸出残高は順調に増加しましたが、金利低下の要因から貸出金利息は減少傾向が続きました。

一方、有価証券運用については運用対象の多様化に取り組んだ結果、利息配当金収入は大きく増加しました。

効率化の取り組みにより経費削減にも努めた結果、計画を上回るコア業務純益を計上することができました。また、お取引先企業の経営環境は安定的で、企業支援の取り組みにも注力してまいりました結果、与信関係費用は計画を大幅に下回り、連結当期純利益は目標を大きく上回る達成となりました。

これもひとえにお取引さまや株主の皆さまのご支援ご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。

新中期経営計画“BEST for the Region”について

新中期経営計画“BEST for the Region”では、前計画に引き続き、「営業力の強化」「経営の効率化」「経営基盤の強靭化」を基本方針の三本柱として各種施策に取り組んでまいります。

1つ目の「営業力の強化」では、お客さまの期待を上回る提案力とサービスの実現を目指します。

お客さまの利便性と満足度を向上させるために、対面・非対面チャネルの機能性向上とオムニチャネル化を進めます。また、地域貢献に資する融資機能の発揮のため、企業融資に関する目利き力を高めるとともに、当社グループの持つさまざまなソリューションを提供することで、地元企業の発展のお手伝いをしてまいります。

特にビジネスマッチングについては、当社グループの持つ広域店舗網と、複数の営業地域での高いシェアにより、他行にはない広域で質の高いビジネスマッチングを実現してまいります。

有価証券運用については、市場環境の変化に柔軟に対応してまいります。市場リスクに十分に留意し、過度なリスクテイクとならないよう適切なポートフォリオ運営を心がけてまいります。



また、現在証券子会社の設立に向けた準備を進めております。当社グループが持つ豊富な顧客基盤・店舗網、地域に根ざして築いてきたブランド力と、東海東京フィナンシャル・ホールディングスのもつ証券業ノウハウの融合により、お客さまの資産運用分野におけるニーズの多様化と高度化にお応えできる、地域金融グループによる地域のための証券会社を目指してまいります。



2つ目は「経営の効率化」です。競争を勝ち抜ける機能的な組織を追求してまいります。

IT投資によるペーパーレス化や事務処理の簡素化に加えて、業務の本部集中化やグループ内での共同化や集約化に取り組むことで、職員がお客さまと接する時間を増やし、バック余剰人員をフロント業務にシフトすることで営業力強化につなげてまいります。

店舗運営についても、地域やマーケットに合わせた運営態勢や店舗配置、非対面チャネルによる補完など、効率的な営業ネットワークの構築を目指します。

これらの施策により、将来人口減少が進む地域においても必要とされる金融サービスを提供し、地域金融機関としての使命を果たしていきたいと考えております。

3つ目は「経営基盤の強靱化」です。

地域のお客さまの信頼は当社グループの存立基盤であり、皆さまが当社グループと安心してお取引いただけるよう、着実に収益を積み上げ、健全な財務基盤を構築・維持してまいります。株主の皆様には、安定的な配当を継続していくことを第一とし、将来の利益水準や規制動向を考慮しつつ株主還元の充実に努めてまいります。

当社グループは変化する環境の中で、環境に応じて自ら変革に取り組むことで、地域に貢献し地域から必要とされる金融機関となるよう努力してまいりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

前中期経営計画の達成状況(2行合算・連結)

	平成28年3月期 (目標)	平成28年3月期 (実績)
総預金平残	10兆1,100億円	10兆6,389億円
貸出金平残	7兆4,800億円	7兆5,457億円
コア業務純益	470億円	520億円
連結当期純利益	185億円	288億円
連結自己資本比率	10%以上	10.30%
OHR (コア業務粗利益ベース)	67%	63.57%
不良債権比率	2%台	2.15%

平成31年3月期の目標計数(2行合算・連結)

収益性	預金平残	10兆5,600億円
	貸出金平残	7兆7,600億円
	コア業務純益	415億円
	連結当期純利益	230億円
効率性	OHR(コア業務粗利益ベース)	69.14%
安全性	連結自己資本比率	9.55%

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

	28年3月期		27年3月期
		前期比	
経常収益	1,925	△ 13	1,939
経常利益	464	△ 17	481
親会社株主に帰属する当期純利益	288	6	282
自己資本比率	10.30%	△ 0.83%	11.13%

(単位:億円)

当社における28年3月期の業績につきましては、連結経常収益は前期比13億円減少の1,925億円、連結経常利益は前期比17億円減少の464億円、親会社株主に帰属する当期純利益は6億円増加の288億円となりました。

連結自己資本比率は10.30%となりました。

■ 北陸銀行・北海道銀行 <2行合算>

	2行合算		27年3月期
	28年3月期	前期比	
経常収益	1,789	△ 5	1,794
コア業務粗利益	1,430	△ 18	1,448
経費(臨時処理分を除く)	909	△ 26	936
コア業務純益	520	8	512
与信費用	37	△ 23	60
経常利益	467	△ 3	471
当期純利益	299	16	282

(単位:億円)

2行合算では、経常収益は前期比5億円減少の1,789億円となり、当期純利益は前期比16億円増加の299億円となりました。

北陸銀行では、経常収益は前期比6億円減少の933億円となり、当期純利益は前期比18億円増加の165億円となりました。

北海道銀行では、経常収益は前期比1億円増加の855億円となり、当期純利益は前期比1億円減少の134億円となりました。

	北陸銀行		27年3月期
	28年3月期	前期比	
経常収益	933	△ 6	940
コア業務粗利益	753	△ 11	765
経費(臨時処理分を除く)	486	△ 18	504
コア業務純益	266	6	260
与信費用	△ 11	△ 28	17
経常利益	267	22	245
当期純利益	165	18	146
自己資本比率	9.78%	△ 0.83%	10.61%

(単位:億円)

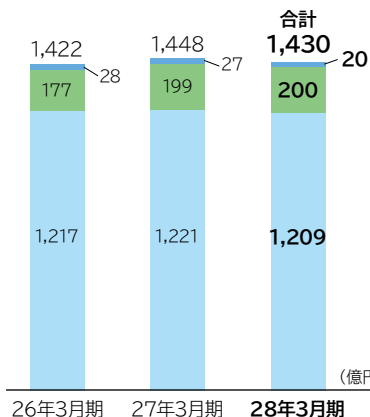
	北海道銀行		27年3月期
	28年3月期	前期比	
経常収益	855	1	854
コア業務粗利益	676	△ 6	683
経費(臨時処理分を除く)	422	△ 8	431
コア業務純益	253	2	251
与信費用	48	5	42
経常利益	200	△ 26	226
当期純利益	134	△ 1	135
自己資本比率	10.23%	△ 0.52%	10.75%

(単位:億円)

損益の状況

■ コア業務粗利益<2行合算>

■ その他
■ 役員取引等利益
■ 資金利益



資金利益 **1,209億円**

有価証券利息配当金は増加しましたが、貸出金利息の減少により、前期比11億円減少しました。

役員取引等利益 **200億円**

投資信託販売手数料は減少しましたが、役員費用の減少により、前期比横ばいで推移しました。

その他 **20億円**

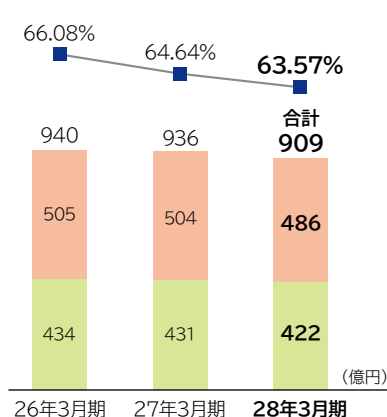
外為売買損益が減少したため、前期比6億円減少しました。

コア業務粗利益 **1,430億円**

上記の結果、前期比18億円減少しました。

■ 経費<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ OHR

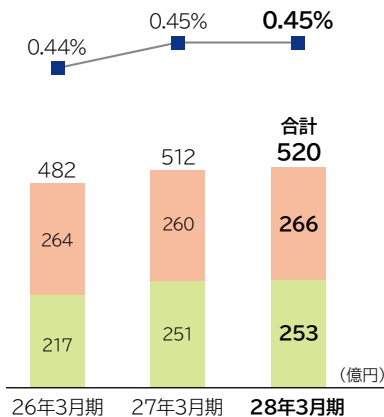


経費 **909億円**

物件費が減少したことから、前期比26億円減少しました。

■ コア業務純益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ ROA

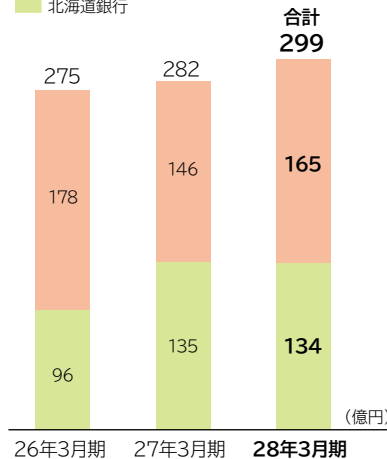


コア業務純益 **520億円**

コア業務粗利益は減少しましたが、経費の減少により、前期比8億円増加しました。

■ 当期純利益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行



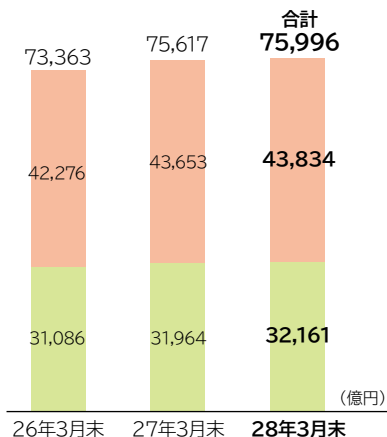
当期純利益 **299億円**

国債等債券損益や株式等損益は減少しましたが、与信費用および法人税等の減少により当期純利益は、前期比16億円増加となりました。

貸出金・預金等の状況

■ 貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

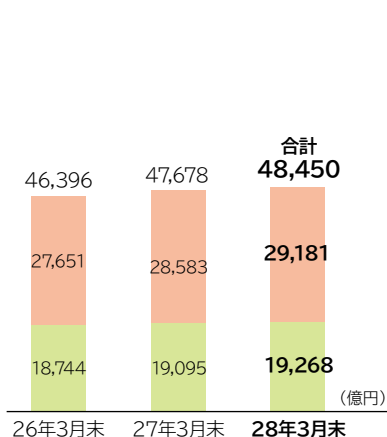


貸出金
7兆5,996億円

地方公共団体等向け貸出は減少しましたが、事業性貸出の増加により、前期末比378億円増加しました。

■ 中小企業等貸出<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

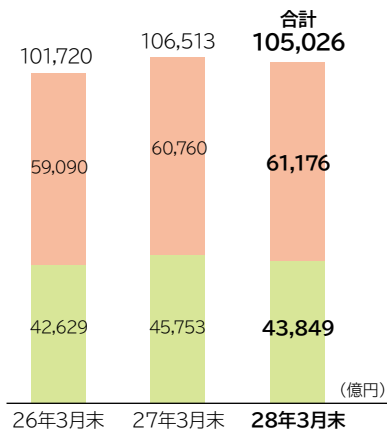


中小企業等貸出
4兆8,450億円

地域の資金需要を積極的に取り込んだ結果、前期末比772億円増加しました。

■ 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

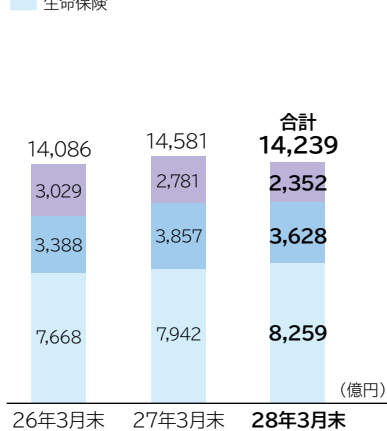


預金(含む譲渡性預金)
10兆5,026億円

法人預金は堅調に増加しましたが、譲渡性預金が減少したことから、前期末比1,487億円減少しました。

■ 個人預かり資産(公共債、投資信託、生命保険)<2行合算>

公共債
投資信託
生命保険

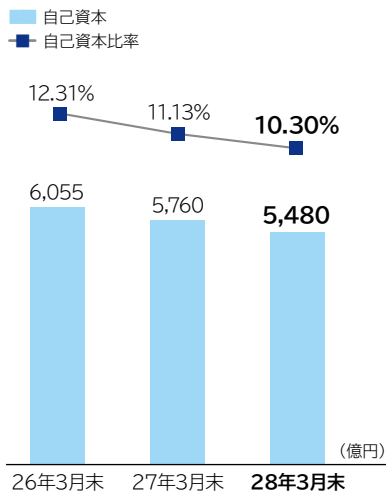


個人預かり資産
1兆4,239億円

生命保険は増加しましたが、公共債および投資信託が減少し、前期末比341億円減少しました。

健全性の指標・配当推移

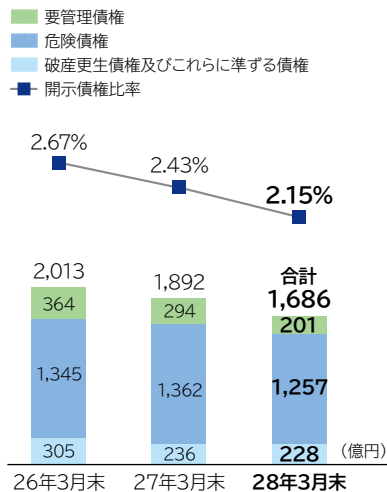
■ 自己資本比率<FG連結>



自己資本比率
10.30%

利益の積み上げを図った一方、劣後ローンの返済等により、27年3月末比0.83ポイント低下しました。

■ 金融再生法開示債権<2行合算>



金融再生法開示債権
1,686億円

27年3月末比206億円減少しました。

開示債権比率
2.15%

27年3月末比0.28ポイント改善しました。

■ 格付

格付投資情報センター

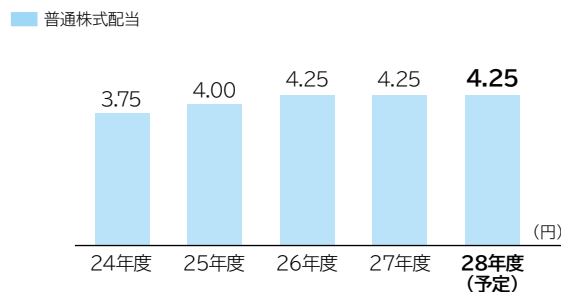
R&I

A

「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」、北海道銀行はJCRより「A」の格付も取得しています。

■ 普通株式年間配当(1株当たり)



普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえ、期末一括配当1株当たり4円25銭とさせていただきます。

なお、平成28年10月1日を効力発生日として「普通株式10株を1株とする株式併合」を予定しており、株式併合が行われた場合の平成28年度配当金(予定)は、42円50銭となります。

銀行持株会社



■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 1,351,630,146株
第1回第5種優先株式 107,432,000株

■ 取締役・監査役の役職および氏名 (平成28年6月24日現在)

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	庵 栄伸	取締役	小倉 隆巳
取締役副社長	笹原 晶博	取締役(社外)	大島 雄次
取締役	麦野 英順	取締役(社外)	中川 了滋
取締役	山川 広行	常勤監査役	稲葉 純一
取締役	中野 隆	監査役(社外)	前泉 洋三
取締役	浅林 孝志	監査役(社外)	川田 達男

■ 従業員の数 専任者13名、兼務者69名、計82名

■ 設立日 平成15年9月26日

■ 各組織の構成および役割等

取締役会 グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。

監査役会 監査の方針、監査役の職務の執行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行を監査します。

コーポレート・ガバナンス委員会 社外役員および常勤監査役で構成し、当社グループの持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目的に、社外役員間の情報交換や認識共有、当社重要事項への助言を行います。

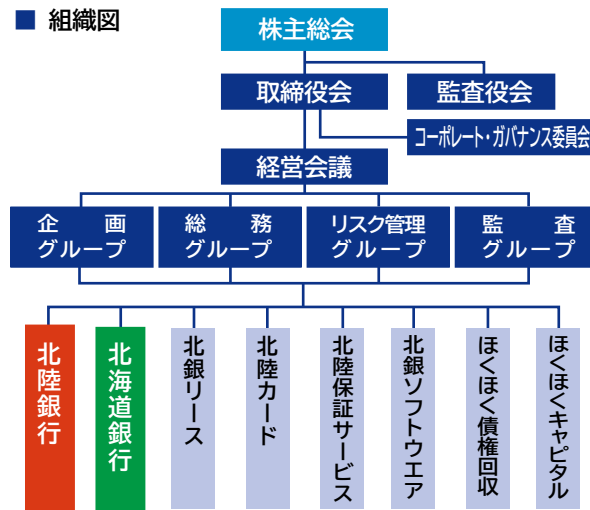
経営会議 当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、一般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

名 称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号

業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理
2. 上記経営管理業務に付帯または関連する業務

■ 組織図



■ グループ各社の内容

(株)北陸銀行 ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。

(株)北海道銀行

北銀リース(株) リース業務、代金回収業務などを行っています。

(株)北陸カード

JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っています。

北陸保証サービス(株)

住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っています。

北銀ソフトウェア(株)

コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。

ほくほく債権回収(株)

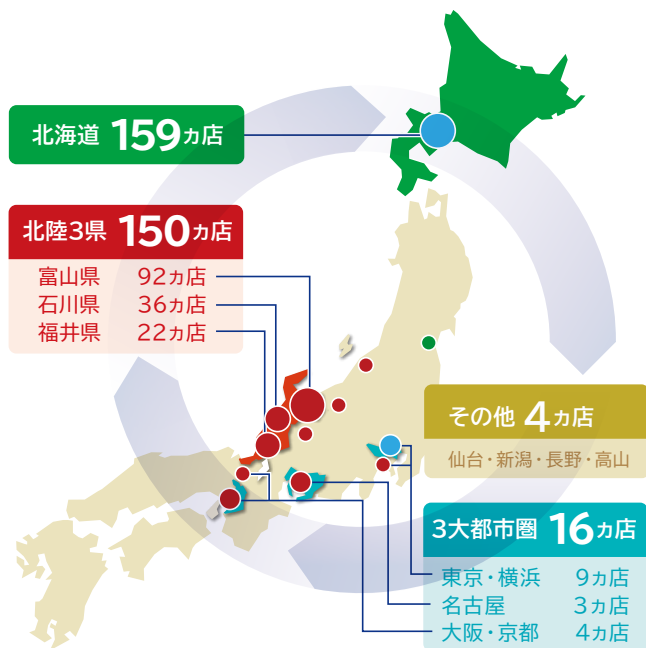
銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っています。

ほくほくキャピタル(株)

株式公開の立案・アドバイス業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。

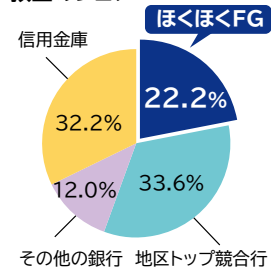
広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献していきます。

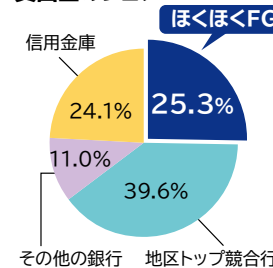


北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

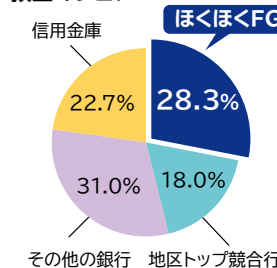


貸出金のシェア

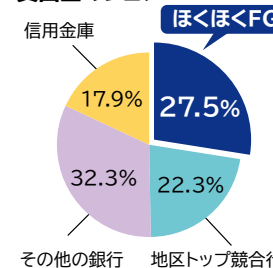


北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア



※シェアは、平成27年9月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などにより当社にて作成。
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めています。

海外駐在員事務所 9 拠点

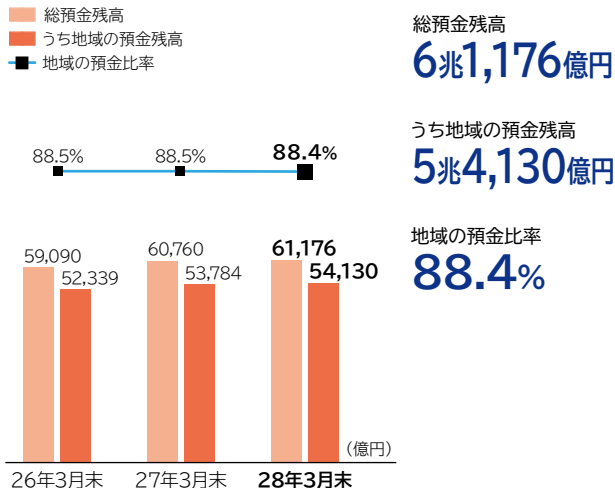
北陸銀行 6 北海道銀行 3



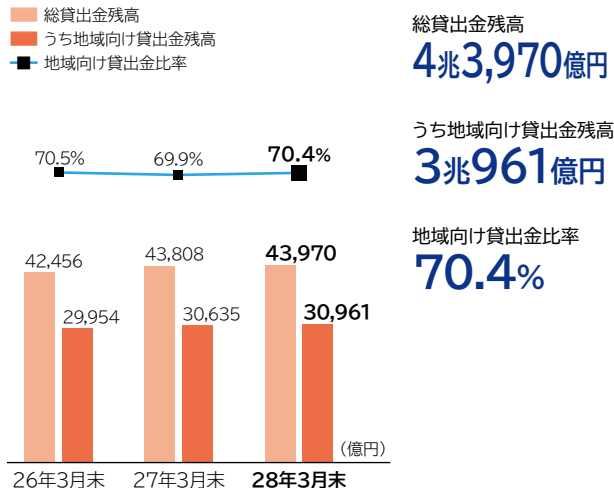
- | | |
|----------------|-------------------|
| ① ニューヨーク駐在員事務所 | ⑥ 大連駐在員事務所 |
| ② ロンドン駐在員事務所 | ⑦ 瀋陽駐在員事務所 |
| ③ バンコク駐在員事務所 | ⑧ ウラジオストク駐在員事務所 |
| ④ シンガポール駐在員事務所 | ⑨ ユジノサハリンスク駐在員事務所 |
| ⑤ 上海駐在員事務所 | |

預金・貸出金の状況

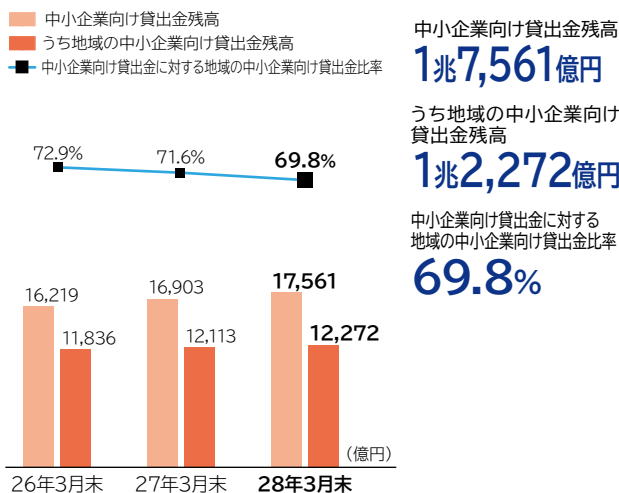
■ 地域の預金(含む譲渡性預金)の状況



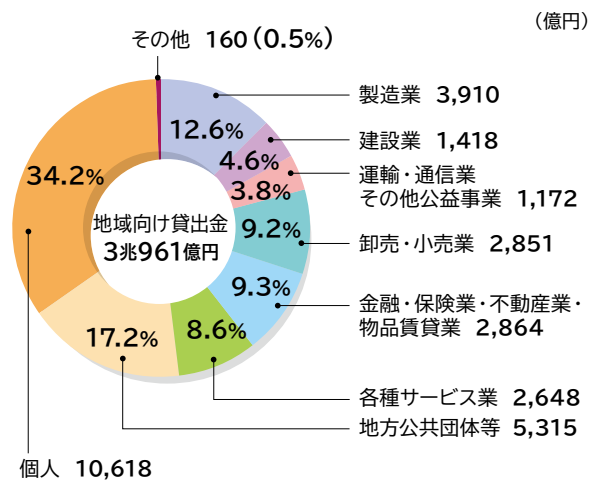
■ 地域向け貸出金の状況



■ 中小企業向け貸出金の状況

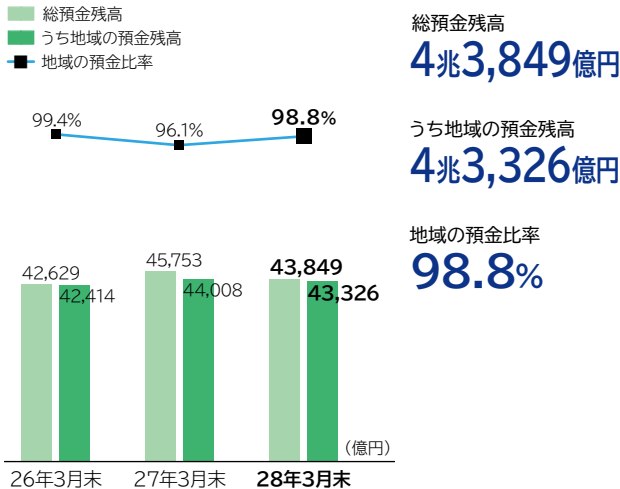


■ 地域の業種別貸出残高(平成28年3月末)

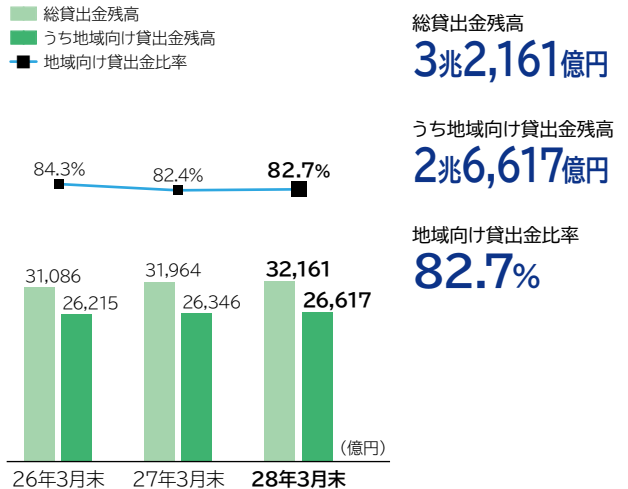


預金・貸出金の状況

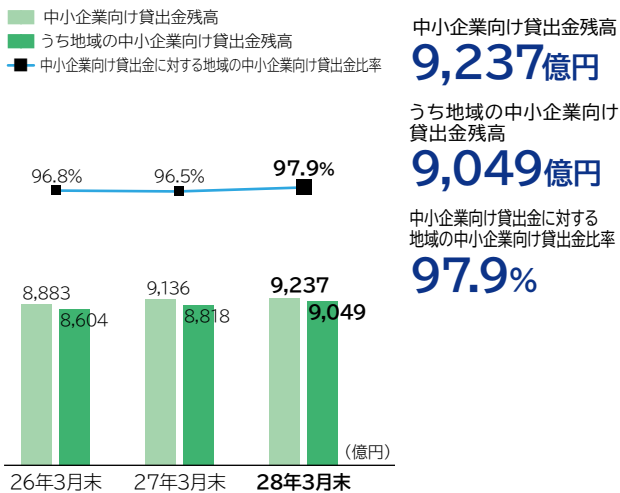
■ 地域の預金(含む譲渡性預金)の状況



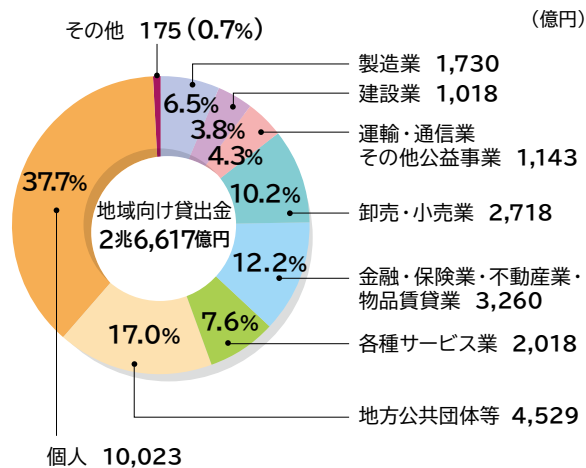
■ 地域向け貸出金の状況



■ 中小企業向け貸出金の状況



■ 地域の業種別貸出残高(平成28年3月末)





地域活性化・地方創生に関する取り組み

地域に根差した営業活動を行う金融機関にとって、地方創生の実現に向けた地域への積極的な関与・支援は、大きな使命です。

北陸銀行では「地域創生部」を、北海道銀行では「道銀地方創生本部」を設置し、銀行一丸となって強力に地方創生を推進する体制を構築しています。

北陸銀行 北海道銀行 地方自治体との包括連携協定を締結

地域経済の発展に向けた相互の連携強化を目的として、地方自治体との地方創生等に関する連携協定を締結しております。

27年11月から28年4月末までに、北陸銀行では新たに、福井県大野市、石川県能美市および富山県立山町と、北海道銀行では北海道北広島市、札幌市、恵庭市、釧路市、滝川市、名寄市、美瑛市、砂川市、芦別市、北見市、岩見沢市を加え、グループ全体で23の自治体と協定を締結しています。

今後、「地方版総合戦略」の推進に積極的に協力し「地方創生の実現」を目指していきます。



大野市との調印式



北広島市との調印式

北海道銀行 株式会社スノーピークと連携協定を締結

2月5日、デザインと品質に優れたアウトドア製品を製造・販売し、業界でトップブランドの地位を確立している株式会社スノーピークと連携協定を締結しました。

同社の有するアウトドア事業関連のノウハウを北海道内の各地方自治体に提案するとともに、各地の観光資源であるアウトドア施設の「活用強化」や「磨き上げ」の支援および多様な宿泊機会を創出することにより、地域の活性化および雇用の増加へ貢献していきます。



調印記者会見の様

北陸銀行 ほくぎん女性起業支援セミナーの開催



12月14日、女性による新ビジネス事業化支援の一環として北陸銀行・日本政策投資銀行の共催で「女性起業支援セミナー」を開催しました。

日本政策投資銀行の「女性新ビジネスプランコンペティション」で受賞歴のある経営者2名を招き、ブランド戦略やビジネスモデルに関して講演が行われました。当日は起業を目指す女性ら約60名が参加し、熱心に質疑が行われ、参加者同士の情報交換も積極的に行われました。



セミナーの様子

北海道銀行 「地域再生・活性化ネットワーク」による「地方創生応援キャンペーン」の実施



12月、「地域再生・活性化ネットワーク」参加行9銀行の共同企画として「地方創生応援キャンペーン」を実施しました。

9行がそれぞれ実施するキャンペーンにおいて、抽選で各行500名様(9行合計4,500名様)に各地の特産・名産品(18種類)を集めたオリジナルカタログギフトをプレゼントしました。

各地の特産・名産品の知名度向上による地域経済の活性化を目的としており、単一の銀行では出来なかった新しい取り組みとなりました。





北海道銀行の取り組みをご紹介します！

お取引先の成長を支援する取り組み

販路拡大支援

北陸銀行 北海道銀行 「北海道の『食』特別商談会in小樽・後志」を開催

11月26日、NHK連続テレビ小説「マッサン」の放送による人気が続くなど全国的に注目を集めている小樽・後志地区において、道内外のバイヤーを招いて商談会を開催しました。

出展企業からは「今後の商品開発を行う上で貴重な意見を頂戴し有意義だった」「明日からすぐ実行できるアドバイスを頂き、大変実り多かった」などの感想が寄せられました。

豊かな農畜産物・水産資源等を活用した、付加価値の高い加工食品や地域特産品等の販路拡大を通じて地方創生に取り組んでいきます。



出展企業数 …… 16社
バイヤー数 …… 7社
アドバイザー数 …… 1社
商談件数 …… 77件
相談件数 …… 11件



北陸銀行 北海道銀行 「北海道・東北・北陸ビジネスマッチングin東京」を開催

2月2日、北陸・東北各県と北海道が有する地域特産品の付加価値を高めることや、6次産業化を展望したビジネスマッチングを支援することを目的に、北陸銀行、北海道銀行および「東北・北海道地区交流促進地銀連携」に参加する東北10行とのリレーションを活かし、お取引先と首都圏を中心としたバイヤーとの商談会を開催しました。

新幹線開業でより身近になる北陸・北海道・東北に対するバイヤーの関心は高く、積極的な商談が行われました。

出展企業数 …… 36社
バイヤー数 …… 18社
商談件数 …… 102件



海外進出支援

北陸銀行 北海道銀行 海外駐在員事務所長帰国報告会の開催

10月9日、北陸銀行上海駐在員事務所長、北海道銀行瀋陽駐在員事務所長による帰国報告会を札幌市で開催しました。

今回の報告会では中国にターゲットを絞り、各地域の最新の現地事情や経済動向、現地で収集した生の情報などについて講演を行いました。現在中国は経済減速といわれている中、地域によって状況が異なること、また日本の介護ビジネスに注目が集まっていることなどを紹介し、新たなビジネスチャンスがあることを説明しました。

今後もほくほくフィナンシャルグループの海外拠点をフル活用した情報提供に努めていきます。



参加者…35名(12社)



北陸銀行 「バンコク日系企業ビジネス交流会」を開催

11月6日、タイ・バンコクにて地方銀行7行による、地方銀行共同主催として初めての「バンコク日系企業ビジネス交流会」を開催し、タイに進出している企業や現地での事業展開を検討する企業などが参加しました。

現地でコンサルティングを行う企業のセミナーが行われたほか、交流会では自社の事業説明や事業拡大に向けた情報交換が行われました。

参加企業数… 約210社
(うち北陸銀行取引先26社)



CSRの取り組み

北海道銀行 「均等・両立推進企業 優良賞」の受賞



10月、女性労働者の能力発揮を促進するための積極的取り組み(ポジティブ・アクション)について、他の模範とも言うべき活動をしている企業として、北海道労働局より「2015年度 均等・両立推進企業 優良賞」の表彰を受けました。

人事コースの転換要件や採用区分の見直しを行い、女性の採用、職域、管理職登用の機会の拡大を図ったことや、女性職員の意見要望を集約するために「女性活躍促進ミーティング」を実施し、寄せられた意見を女性が動きやすい職場環境づくりに活かす取り組みを行っていることが評価されました。



授賞式の様子

北陸銀行 「なんとの森づくり事業」への参加

11月、五箇山合掌造りの世界遺産登録20周年を機に富山県南砺市遊部自治会が推進を開始した「なんとの森づくり事業」に共同参加し、茅の植栽活動を行いました。



北陸銀行 北海道銀行 「エコノミクス甲子園」の開催



高校生がクイズを楽しみながら金融・経済に関する知力を習得し、お金との関わり方やライフデザイン等を考えるきっかけとなることを目的として、毎年エコノミクス甲子園を開催しています。

北陸銀行では富山大会・福井大会を、北海道銀行では道内の信用金庫や信用組合とともに、北海道大会地区予選および北海道大会の運営を行いました。



北陸銀行 「イクボスセミナーの開催」と「イクボス宣言」



2月、職員がより働きやすい職場環境の整備の一環として管理職向けに「イクボスセミナー」を開催し、富山県内民間企業で初めて、富山県知事を立会人として「イクボス宣言」を実施しました。

※イクボスとは共に働く部下のワークライフバランスや人生を応援しながら、組織の業績や結果を出すことができ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことを言います。



北陸銀行・北海道銀行 TOPICS

接客ロボット「Pepper (ペッパー)」の採用

北海道銀行では12月に道内金融機関では初めて、北陸銀行でも本年5月より、ソフトバンクロボティクス社が提供・開発する人型ロボット「Pepper (ペッパー)」を採用しました。北陸銀行は富山市のほくぎんプラザ(越前町支店一番町出張所)、北海道銀行は札幌市の本店営業部にて、ご来店されたお客さまへのご挨拶、商品・キャンペーンのご案内、お子さま向けのゲームなどによるおもてなしを行っています。



北陸銀行 TOPICS

ATMコーナーのご利用時間拡大

3月22日より北陸三県の支店・出張所(一部を除く)のATMコーナーのご利用時間を、毎日朝7時から夜9時まで拡大しました。

これにより通勤・通学時に加え、レジャーへお出かけの際にも一層便利にご利用いただけます。



北海道銀行 TOPICS



「VIEW ALTTE」(ビューアルツテ)における預金引出サービスの開始

3月28日、株式会社ビューカードがJR東日本の主要な駅などで運営するATMコーナー「VIEW ALTTE」(ビューアルツテ)において、キャッシュカードによる預金引出が可能になりました。北海道新幹線開業にあわせ、首都圏および北海道両地区のお客さまの利便性を向上させることで、一層の交流促進を目指します。



「教育資金贈与専用口座」「結婚・子育て資金贈与専用口座」「暦年贈与手続きをサポートするサービス」の取扱開始

生前贈与を通じてお孫さまやご家族の未来を応援したいという想いにお応えするため、本年4月1日より「未来パスポートシリーズ」の取り扱いを開始しました。

「学びのパスポート」は「教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置」、「はぐくみパスポート」は「結婚・子育て資金の贈与税の非課税措置」の対応預金商品です。

また、「暦年贈与とパスポート」は、毎年の贈与の手続きに関して、贈与契約書の作成、贈与資金の払戻し・ご入金、贈与内容のご報告などのお手伝いを行う無料のサービスで、道内に本店を置く金融機関では初めての取り扱いとなります。ジュニアNISAのご資金や生命保険料の贈与など、幅広い目的での資金贈与にご利用いただけます。



貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	8,949	流動負債	224
現金及び預金	210	預り金	4
有価証券	7,000	未払費用	117
前払費用	2	未払配当金	79
未収収益	112	未払法人税等	12
未収還付法人税等	1,620	その他	10
その他	4	固定負債	33,029
固定資産	261,131	社債	33,000
有形固定資産	0	役員退職慰労引当金	29
器具及び備品	0		
無形固定資産	0	負債の部合計	33,253
ソフトウェア	0	純資産の部	
投資その他の資産	261,130	資本金	70,895
関係会社株式	227,870	資本剰余金	137,110
関係会社長期貸付金	33,000	資本準備金	82,034
その他	260	その他資本剰余金	55,075
		利益剰余金	29,956
		その他利益剰余金	29,956
		繰越利益剰余金	29,956
		自己株式	△ 1,454
		株主資本合計	236,507
		新株予約権	319
		純資産の部合計	236,827
資産の部合計	270,081	負債及び純資産の部合計	270,081

損益計算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:百万円)

営業収益	8,517
関係会社受取配当金	7,934
関係会社受入手数料	583
営業費用	528
販売費及び一般管理費	528
営業利益	7,988
営業外収益	427
関係会社貸付金利息	411
その他の営業外収益	15
営業外費用	476
社債利息	412
事務委託費	64
その他の営業外費用	0
経常利益	7,939
税引前当純利益	7,939
法人税、住民税及び事業税	1
法人税等合計	1
当期純利益	7,937

株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計		
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	70,895	82,034	55,061	137,096	29,325	29,325	△ 1,479	235,836	266	236,103
当期変動額										
剰余金の配当					△ 7,305	△ 7,305		△ 7,305		△ 7,305
当期純利益					7,937	7,937		7,937		7,937
自己株式の取得							△ 18	△ 18		△ 18
自己株式の処分			14	14			43	58		58
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									53	53
当期変動額合計	-	-	14	14	631	631	25	671	53	724
当期末残高	70,895	82,034	55,075	137,110	29,956	29,956	△ 1,454	236,507	319	236,827

連結貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	1,235,499	預金	10,231,408
コールローン及び買入手形	65,016	譲渡性預金	244,008
買入金銭債権	62,034	コールマネー及び売渡手形	20,845
特定取引資産	4,631	債券貸借取引受入担保金	92,954
金銭の信託	8,344	特定取引負債	1,129
有価証券	2,406,589	借入金	207,252
貸出金	7,582,954	外国為替	226
外国為替	14,771	社債	33,000
その他資産	108,066	その他負債	126,529
有形固定資産	101,080	退職給付に係る負債	20,459
無形固定資産	23,974	役員退職慰労引当金	230
繰延税金資産	7,244	偶発損失引当金	1,957
支払承諾見返	65,044	睡眠預金払戻損失引当金	1,419
貸倒引当金	△ 54,925	繰延税金負債	11,883
		再評価に係る繰延税金負債	5,724
		支払承諾	65,044
		負債の部合計	11,064,076
		純資産の部	
		資本金	70,895
		資本剰余金	148,211
		利益剰余金	263,959
		自己株式	△ 1,489
		株主資本合計	481,576
		その他有価証券評価差額金	83,834
		繰延ヘッジ損益	△ 1,596
		土地再評価差額金	9,079
		退職給付に係る調整累計額	△ 8,340
		その他の包括利益累計額合計	82,976
		新株予約権	319
		非支配株主持分	1,378
		純資産の部合計	566,251
資産の部合計	11,630,328	負債及び純資産の部合計	11,630,328

連結損益計算書 (平成27年4月1日~平成28年3月31日) (単位:百万円)

経常収益	192,584
資金運用収益	127,069
(うち貸出金利息)	(98,140)
(うち有価証券利息配当金)	(26,339)
役員取引等収益	39,486
特定取引収益	279
その他業務収益	14,308
その他経常収益	11,439
経常費用	146,158
資金調達費用	6,826
(うち預金利息)	(3,172)
役員取引等費用	13,754
その他業務費用	9,536
営業経費	100,883
その他経常費用	15,158
経常利益	46,425
特別利益	759
特別損失	1,266
税金等調整前当期純利益	45,918
法人税、住民税及び事業税	10,543
法人税等調整額	6,437
法人税等合計	16,981
当期純利益	28,936
非支配株主に帰属する当期純利益	99
親会社株主に帰属する当期純利益	28,837

連結株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額					新株 予約権	非支配 株主持分	純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	退職給付 に係る調 整累計額				その他の 包括利益 累計額合計
当期首残高	70,895	148,197	242,701	△ 1,514	460,279	101,033	△ 845	8,502	2,473	111,164	266	1,276	572,987
当期変動額													
剰余金の配当			△ 7,305		△ 7,305								△ 7,305
親会社株主に帰属する当期純利益			28,837		28,837								28,837
自己株式の取得				△ 18	△ 18								△ 18
自己株式の処分		14		43	58								58
土地再評価差額金の取崩			△ 274		△ 274								△ 274
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△ 17,198	△ 751	577	△ 10,814	△ 28,187	53	101	△ 28,031
当期変動額合計	-	14	21,257	25	21,296	△ 17,198	△ 751	577	△ 10,814	△ 28,187	53	101	△ 6,735
当期末残高	70,895	148,211	263,959	△ 1,489	481,576	83,834	△ 1,596	9,079	△ 8,340	82,976	319	1,378	566,251

業績ハイライト

グループの概要

ネットワーク

地域とともに

財務諸表

ご案内

貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	892,747	預金	5,911,370
コールローン	65,016	譲渡性預金	206,301
買入金銭債権	62,034	コールマネー	20,845
特定取引資産	2,206	債券貸借取引受入担保金	92,954
有価証券	1,343,914	特定取引負債	1,129
貸出金	4,383,442	借入金	200,758
外国為替	8,850	外国為替	175
その他資産	23,754	その他負債	55,431
有形固定資産	77,219	退職給付引当金	1,924
無形固定資産	3,278	役員退職慰労引当金	57
前払年金費用	1,897	偶発損失引当金	1,393
支払承諾見返	35,074	睡眠預金払戻損失引当金	965
貸倒引当金	△ 18,944	繰延税金負債	13,456
		再評価に係る繰延税金負債	5,724
		支払承諾	35,074
		負債の部合計	6,547,563
		純資産の部	
		資本金	140,409
		資本剰余金	14,998
		資本準備金	14,998
		利益剰余金	100,974
		利益準備金	10,466
		その他利益剰余金	90,508
		繰越利益剰余金	90,508
		株主資本合計	256,383
		その他有価証券評価差額金	69,064
		繰延ヘッジ損益	△ 1,596
		土地再評価差額金	9,079
		評価・換算差額等合計	76,547
		純資産の部合計	332,930
資産の部合計	6,880,493	負債及び純資産の部合計	6,880,493

損益計算書 (平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(単位:百万円)

経常収益	93,387
資金運用収益	68,101
(うち貸出金利息)	(52,175)
(うち有価証券利息配当金)	(13,827)
役務取引等収益	17,493
特定取引収益	166
その他業務収益	1,516
その他経常収益	6,108
経常費用	66,626
資金調達費用	4,627
(うち預金利息)	(1,870)
役務取引等費用	6,868
その他業務費用	15
営業経費	51,342
その他経常費用	3,772
経常利益	26,761
特別利益	0
特別損失	858
税引前当期純利益	25,903
法人税、住民税及び事業税	4,601
法人税等調整額	4,799
法人税等合計	9,400
当期純利益	16,503

株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金							利益剰余金合計
当期首残高	140,409	14,998	14,998	9,523	79,936	89,459	244,868	73,340	△ 845	8,502	80,997	325,865
当期変動額												
剰余金の配当				942	△ 5,656	△ 4,713	△ 4,713					△ 4,713
当期純利益					16,503	16,503	16,503					16,503
土地再評価差額金の取崩					△ 274	△ 274	△ 274					△ 274
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								△ 4,275	△ 751	577	△ 4,449	△ 4,449
当期変動額合計	-	-	-	942	10,571	11,514	11,514	△ 4,275	△ 751	577	△ 4,449	7,065
当期末残高	140,409	14,998	14,998	10,466	90,508	100,974	256,383	69,064	△ 1,596	9,079	76,547	332,930

貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	342,340	預金	4,332,822
商品有価証券	2,424	譲渡性預金	52,107
金銭の信託	8,344	借入金	37,704
有価証券	1,051,981	外国為替	51
貸出金	3,216,184	その他負債	42,801
外国為替	5,920	退職給付引当金	8,092
その他資産	39,630	役員退職慰労引当金	104
有形固定資産	29,144	偶発損失引当金	563
無形固定資産	2,742	睡眠預金払戻損失引当金	454
繰延税金資産	7,084	支払承諾	22,955
支払承諾見返	22,955	負債の部合計	4,497,657
貸倒引当金	△ 27,298	純資産の部	
		資本金	93,524
		資本剰余金	16,795
		資本準備金	16,795
		利益剰余金	74,838
		利益準備金	7,648
		その他利益剰余金	67,189
		繰越利益剰余金	67,189
		株主資本合計	185,157
		その他有価証券評価差額金	18,641
		評価・換算差額等合計	18,641
資産の部合計	4,701,456	純資産の部合計	203,799
		負債及び純資産の部合計	4,701,456

損益計算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:百万円)

経常収益	85,530
資金運用収益	59,671
(うち貸出金利息)	(46,066)
(うち有価証券利息配当金)	(13,115)
役務取引等収益	17,496
その他業務収益	1,389
その他経常収益	6,972
経常費用	65,526
資金調達費用	2,176
(うち預金利息)	(1,305)
役務取引等費用	8,121
その他業務費用	197
営業経費	42,785
その他経常費用	12,245
経常利益	20,003
特別利益	758
特別損失	362
税引前当期純利益	20,400
法人税、住民税及び事業税	5,197
法人税等調整額	1,760
法人税等合計	6,958
当期純利益	13,442

株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金				利益剰余金合計	
当期首残高	93,524	16,795	16,795	7,005	57,608	64,613	174,932	31,525	31,525	206,457
当期変動額										
剰余金の配当				643	△ 3,860	△ 3,217	△ 3,217			△ 3,217
当期純利益					13,442	13,442	13,442			13,442
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								△ 12,883	△ 12,883	△ 12,883
当期変動額合計	-	-	-	643	9,581	10,224	10,224	△ 12,883	△ 12,883	△ 2,658
当期末残高	93,524	16,795	16,795	7,648	67,189	74,838	185,157	18,641	18,641	203,799

決算期	毎年3月31日
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日
1単元の株式数	1,000株
証券コード	8377
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(第一部)および札幌証券取引所
公告方法	電子公告により当社ホームページ(http://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・郵便物の送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

みずほ
フリーダイヤル **0120-288-324**
受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■ 株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社 特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 の本店および全国各支店 (みずほ証券の本支店でもお取次ぎしております。)
支払明細の発行	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店

② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
------------	-------------------------------

■ 普通株式の単元株式数の変更および株式併合についてのご案内

当社普通株式について、平成28年10月1日をもって単元株式数を1,000株から100株に変更し、同時に10株を1株に併合いたします。
この単元株式数の変更および株式併合に伴う株主さまによる特段のお手続の必要はありません。

■ 単元株式数の変更・株式併合による影響

株式併合により、発行済株式総数が10分の1に減少することとなりますが、純資産等は変動しませんので、1株あたりの純資産額は10倍となり、株式市況の変動など他の要因を除けば、当社株式の資産価値に変動はありません。

■ 1株未満の端数が生じる場合の処理

株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法の定めに基づき、一括して処分し、その代金を端数の生じた株主さまに対して、端数に応じて交付いたします。
なお、端数株式の処分代金は平成28年12月頃にお送りすることを予定しております。

本件に関するお問い合わせ先
株式併合に関するご不明な点は、お取引の証券会社または株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

**みずほ信託銀行株式会社
証券代行部**
TEL.0120-288-324
(フリーダイヤル)

スマートフォン向けアプリ登場



アプリはAppStore (iOSの場合)・GooglePlay (Androidの場合)で配信中です!ぜひご利用ください。



北陸銀行ポータルアプリ



このアイコンが目印!

ポイント1
Web照会サービスで簡単表示!
プッシュ通知機能で入出金を定期的にお知らせ!

ポイント2
店舗・ATM検索など簡単にアクセス!

ポイント3
口座開設もスマホでOK!

どうぎん取引照会アプリ



このアイコンが目印!

ポイント1
カンタン起動で残高と取引明細を今すぐ表示!

ポイント2
取引明細の更新をポップアップでお知らせ!

ポイント3
リンクボタンで当行ホームページにひとつ飛び!

LINE@スタート



北陸銀行LINE@

キャンペーン情報や耳寄りな情報をお届け



営業店の情報やCSR活動、ほくまるとりくひめからのちょっとしたインフォメーションなどを配信!



友だち追加はこちら



北海道銀行LINE@

おトクな情報や暮らしに便利な情報をお届けします!



友だち追加はこちら





株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
HokuHoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7331

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行

総合企画部広報CSR室

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7111

<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行

経営企画部広報CSR室

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel: 011-233-1005

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体(ユニバーサルデザインフォント)を採用しています。
ペジタブルインキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。